

# “ツクルミュージアム”

佐藤 朝美

愛知淑徳大学

荒木 淳子

産業能率大学

今野 知

株式会社Switch・  
エンタテインメント

佐藤 慎一

日本福祉大学

## 要約：

筆者らは、親の発達に重要な「親としての気づき」と「親子の相互作用」を促す省察的な家族対話を引き出すファミリー・ポートフォリオ構築を構想している。本研究では、子どもの写真や映像、日記等、成長記録を取りためるという日常の行為の中で、子どもの作品を記録することの意味に着目しスマートフォンアプリ“ツクルミュージアム”を検証する。子どもの作品から見とれることや作品の変化から、親としての気づきや視点の変容がどのように促されるのか検証する。”

ファミリー・  
ポートフォリオ  
の要件

★PA: 親としての気づき  
★IIT: 親子の相互作用

## ツクルミュージアムとは？

1. スタート画面

2. 作品写真登録画面

3. 一覧表示画面

4. 作品展示画面



➢ スマートフォンで動作  
➢ 子どもの作品を撮りながら、ミュージアムを作りあげていくアプリ

➢ アプリ、もしくはスマホの写真・アルバム機能を用いて写真を登録  
➢ 作品の作成時期等の情報、タイトル、コメント（気持ち・工夫点・詳細情報等）を入力

➢ 作品リストが一覧表示  
➢ 展示室名ごと、あるいは制作時期ごとを一覧表示される  
➢ 子どもだけでなく、パパ&ママも参加可能

➢ 登録した作品の展示画面  
➢ コメントとともに表示される  
➢ 1作品に対し複数の写真が登録可能なので、上下左右、その時の子どもの様子など登録

## 評価

### <方法>

育児期の母親8人を対象に、“ツクルミュージアム”を約1ヶ月間、子どもの作品の記録は必須とし、他は自由に使用してもらった。使用後、下記項目にてインタビューを実施した。

### 【テクニカルな面、感情面】

1. 利用の感想

### 【作品を見る視点】

2. 作品を撮りながら、気づいたことはありますか

### 【親子の対話】

3. 作品を通じて、お子さんとの対話がありましたか

### 【夫婦の対話】

4. 作品を通じて、ご夫婦での対話がありましたか

### 【気持ちの変化】

5. ツクルミュージアムを利用する前と比べて、ご自身のお子さんへの気持ちに変化はありましたか

6. ツクルミュージアムの利用を通じて、ご自身の親としての気持ちに変化はありましたか

7. ツクルミュージアムの利用を通じて、パートナーへの気持ちに変化はありましたか。

8. (働いている人の場合)ツクルミュージアムの利用を通じて、ご自身の仕事やキャリアに対する気持ちに変化はありましたか

### 【使用の動機】

9. 今後もツクルミュージアムを使ってみたいと思われませんか。

### <結果>

どの家族にもアプリ使用によりIITが生じる様子が見られ、PAに関する発話も見られた。ただし、「親性」※への影響については、明確な確認はできなかった。本結果の分析により、機能の在り方・使用方法等、ファミリー・ポートフォリオ設計要件を検討予定である。

※「親性」とは、【自己への認識】（親役割の状態・親役割以外の状態）、【子どもへの認識】の概念から構成され、ライフステージとともに発達していくものとされている。

## 謝辞

本研究は、平成26年度科学研究費補助基盤研究(C) (課題番号:25350923 代表:佐藤朝美)の助成を受けている。